令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		保健事業と介護予防の一体的実施事業				コード	01030200-0201
中事業名		保健事業と介護予防の一体的実施事業				計画区分	①
担当部等		健康福祉部		担当課等		保険年金課	
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	01	健やかに暮らす		会計	5	後期高齢者医療特別会計
	基本施策	03	高齢者福祉・介護保険		款	01	総務費
	主要施策	02	健康づくり・介護予防の充実		項	03	保健事業費
					目	01	保健事業
					大	02	保健事業と介護予防の一体的実施事業
					中	01	保健事業と介護予防の一体的実施事業
根拠法令・条例等		高齢者の医療の確保に関する法律、保健事業の実施等に関する指針					
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	高齢者一人一人に対して、フレイルなど心身の多様な健康課題に対応したきめ細やかな保健事業を行うため、運動、口腔、栄養、社会参加などの視点から市町村における保健事業を実施するとともに、個々の健康リスクにあった介護予防事業へ接続し、一体的な実施を推進する。
対象	後期高齢者医療被保険者
意図（目的）	前述の高齢者の課題に対し、市町村は、市民に身近な立場からきめ細やかな住民サービスが提供できる。また、市町村は、国民健康保険、介護保険の保険者であるため保健事業や介護予防についてもノウハウを有していることから、関係課が協働・連携し、一体的に実施することで、高齢者の心身の特性に応じてきめ細やかで効果的な事業を進める。
手段	医療専門職の配置

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			0	0	4,452	2,737	3,571	2,042	0
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	4,452	0	3,571	0	0
	一般財源		0	0	0	2,737	0	2,042	0
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		1.25 人		1.16 人	0.00 人
		人件費		0.00		8,156.00		7,569.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				0		10,893		9,611	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	健康部門・介護部門・高齢福祉部門が各役割を理解し一体的にフレイル予防・生活習慣病重症化予防に引き続き取り組むとともに、健康・介護データを収集・活用し、健康課題の共有とターゲット層への効果的アプローチに取り組む。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	各分野で収集した健康・医療・介護データを活用し、健康課題の共有とターゲット層への効果的アプローチに取り組む。

令和 5年度に取り組んだこと	各年齢の健康課題を共有し、各部署にて低栄養に関する周知啓発やターゲット層を意識した教室開催を実施したほか、令和４年度に新たに開始した、健康状態不明者（健診・医療受診のない高齢者）への「栄養パトロール事業」を引き続き実施した。

成果	従来に続き、市民特に６５歳～８５歳を中心として発送物にチラシ等を同封するなど、関係部署と連携して取り組むことができた。栄養パトロール事業では、健康状態不明者と接触し健康状態を把握し、介入支援が必要な人について介護や医療、栄養指導等必要な支援につなげ、早期発見・早期介入による重症化を予防することができた。
課題	団塊世代が７５歳到達し、後期高齢者医療被保険者数の増加が見られる中、健康寿命の延伸・医療費抑制のためには啓発だけでなく７５歳～８５歳をターゲット層としたハイリスク者への早期介入が重要である。健康状態不明者には介入を拒む人や自ら支援を求めない人が一定数いるという課題を踏まえ、ハイリスク者への継続した積極的介入が必要と考える。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	複数の部署が現状と今後の課題（健康・医療・介護）を共有し、２０４０問題の課題（高齢者の増加に伴う社会保障費の増大）解決のために、「健康寿命の延伸、平均寿命との差の縮小」といった目標に向けてそれぞれの部署で取り組むことができている。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		健康部門・介護部門・高齢者福祉部門が各役割を理解し、一体的にフレイル予防・生活習慣病重症化予防に引き続き取り組むとともに、健康・介護データを収集・活用し、健康課題の共有とターゲット層への効果的アプローチに取り組む。令和６年度は、健康状態不明者のうちハイリスク者への介入を行う際に、本市と地域活性化包括連携協定を結んでいる民間事業者と協力し、食事で十分栄養が取れない場合の補助食品による栄養の補い方を紹介する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		各分野で収集した健康・医療・介護データを活用し、健康課題の共有とターゲット層への効果的アプローチに取り組む。			

【アウトプット指標】

指標名	栄養パトロール事業で健康状態が把握できた人の割合						単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度			R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績		目標
			80.00	78.00	80.00	72.30		80.00

【アウトカム指標】

指標名	医療・介護・栄養指導に繋げる必要があった者のうち、何等かの支援に繋がった者の割合						単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度			R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績		目標
			50.00	51.00	60.00	66.70		68.00
式	支援に繋がった者（16人）÷アンケートによる低栄養・フレイルの高リスク判定及び訪問状況による判断（24人）							
指標の狙い	健康状態不明者（健診・医療未受診者）の健康状態を把握するとともに、フレイルや低栄養リスクのある者を医療・介護に接続または栄養アプローチを行うことで、重症化を予防しＱＯＬの維持・向上、さらには医療費適正化に寄与する。							

令和05年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	低栄養アプローチ事業参加率					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
			15.00	11.00	15.00	6.70	15.00

【アウトカム指標２】

指標名	生活習慣病患者における人工透析患者割合					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
			1.50	1.50	1.40	1.50	1.40
式	人工透析患者数（123人）÷生活習慣病対象者数（8,412人） ※後期高齢者医療制度加入者（各年５月作成ＫＤＢ帳票）						
指標の狙い	適切なアプローチを行い生活習慣病の重症化やフレイルの進行を予防することで、医療費の適正化を図る。特に医療費に大きな影響を与えている生活習慣病かつ人工透析患者をクローズアップすることとする。						